

そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が聞き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。（マルコ7:33-35）

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部
〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
TEL 03-3918-5935
発行者 井桁正巳
編集者 五島靖子
タイトルバック写真 山中和明

「人間をとる漁師」

三滝グリーンチャペル

郡 美矢

イエスはすわって、舟から群衆を教えられた。話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい」と言られた。するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つどれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましょう。」そして、そのとおりになると、たくさん魚が入り、網は破れそうになつた。イエスはシモンにこう言られた。「こわがらなくともよい。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。」（ルカ五章三節～十節）

イエス様は、弟子達に「これから後、人間をとるようになるのです。」と言されました。イエス様は私達に対しても、同じ使命を与えておられます。

私達は神様によつて最高の者として創られました。自分自身を見ると、欠点もたくさんあります。なぜ、最高の者なのか、と疑問を持つかも知れません。それは、神様が私達の創造主だからです。



神様は私を、ろう者として創造されました。そこには神様の目的があると思うと、嬉しさです。私の趣味は、ものまねで人を笑わせることです。物まねをすると、ろう者、聴者関係なく笑ってくれるので、神様に感謝しています。神様は私達に様々な賜物を与え、永遠に神様と交わりを持つ者として創造してくださいました。神様は、私達を通して、働きたいと願つておられるのです。

た。私は日本で牧師になるというビジョンを持つことができませんでした。劇を通して、福音を伝えるという事で満足していたのです。しかし、先生方から「牧師にならないのなら、何の為に、学んでいるのか、神は奇跡の神です。」と言われて、学んでいます。私は道が開けるように祈りました。そんな時、絵はがきを受け取りました。それは、釣り人が小舟に乗りつて魚釣りをしている絵でした。舟の下には小さな魚がいるのですが、釣り人はそれを知らないまま糸を垂らしているのです。私はその絵を見て、励まされました。この小舟に乗つているのは私がいました。どんな魚が釣れるのか、分かりません。何匹釣れるのかも分かりません。しかし、イエス様に従う時、そこに大きな収穫を主は用意して下さいます。あきらめずに夢を持ち続けていれば、神様は思いがけないサプライズを用意して下さります。

イエス様の弟子達は、一晩中、漁をしましたが収穫はゼロでした。でも、「深みに漕ぎ出して、網をおろしなさい」との御言葉に従つた時、驚くような結果が待つていたのです。網が破れしまうくなるほど魚が捕れたのです。御言葉に従います。でも神様はあなたを必要としておられます。アンデレはイエス様に会った時、喜んで着いて行き、兄弟のペテロにイエス様の事を伝えました。ペテロはイエス様の一番弟子になりました。そのように私達も家族に福音を伝える事が出来ます。また、ろう者にはろう者だけができる伝道方法があります。主はあなたにも呼びかけます。「人間をとる漁師になりなさい。」

アメリカで神学を学んでいた頃、私は、ろう者に伝道したい、神様の働き人になりたいと思つていきました。でも、その頃の日本アッセンブルー教団には、ろう者牧師はまだいませんでした。だから私が帰国しても、働き場があるのか、不安でした。

全国ろう者聖会 報告

第99号

八月十二日（月）～十四日

（水）まで、幕張メッセ国際会議場にて、三滝グリーンチャペルの郡美矢師を講師に、全国ろう者聖会が開催されました。

三十一教会、百三八名の参加でテーマは「一つになろう」そだねーーーでした。

神様によって一人一人が創造された事を喜び、愛を持つて互いに支えあい、喜んで主の福音を

身近なところから伝えて行こうと、情熱のこもった三回のメッセージが語られました。

聖会二日目の午後からは、ろ

う者聖書学校の卒業式があり、一名が卒業されました。まず、

郡美矢先生がお祝いメッセージされ、続いて、中央聖書神学校校長の三宅規之先生からの卒業

証書授与、記念品授与、中央聖書神学校理事長寺田文雄師と、

アッセンブリー教団理事長土屋潔

潔師からの祝辞、そして、今は、アッセンブリー教団理事長土屋潔師からの祝辞、そして、今回教師団から神学生への奨学金授与もありました。

ろう者の友に福音の光を

2019年12月1日発行

現在、在校生七名です。神学生の学びの祝福のために、お祈りしていきましょう！

神学

●ろう者聖書学校

卒業生

古川忠志（阿南）

二年生

大森たかみ（四万十）

金井扶美代（小岩）

三年生

新井哲也（熊谷）

加藤雅美（名古屋）

中村崇（小岩）

古川公子（阿南）

水島宣子（岡山）

祝辞

中央聖書神学校理事長

寺田 文雄

卒業おめでとうございます。

新しい働きをスタートするにあたって、四つの事を大切にして下さい。①ミッションとビジョン～神から与えられた使命と未来像を再確認しましょう。②聖靈によるパッション～聖靈様の力と助けによって宣教の情熱を持ち続けましょう。③セルフフレーダーシップとセルフコントロール～困難な時も自分を励まして前進する力、自分を制御する自制力を持ちましょう。④与えて仕える心～神から受けた恵みを豊かに与え、喜んでイエス様と教会に仕える心を持ち続けましょう。

学生を通して、どれだけ多くの人が主を知るようになるのか、主は期待しておられます。今後は、仕方がない、年だから、どういうようなあきらめの言葉を使わないようにして欲しいと思いません。イエス様は私達をあきらめないお方だからです。イエス様は無から有を生み出すお方なので、出来る分をもつて進んでいただきたいと思います。

祝辞

アッセンブリー教団理事長

土屋 潔

卒業おめでとうございます。

主は私達が人を見るのとは違う目で見ておられます。一人の神



小岩教会のフラダンス

「三年間学ぶ」

古川 忠志

(阿南神召キリスト教会)

ろう者聖書神学校に入学した時、一人の先輩が居て一緒に学んできました。

一年後先輩が卒業、私一人だけかと思ったが、新しい入学者が五人入つて心強かつたです。次年の年二人合わせて八人に増えて、一緒に学ぶことが出来てほんとに良かったです。

三年間は歴史学、説教学、旧約聖書概論、ろう者学、牧会学、解釈学、ヨハネの默示録、聖靈論、使徒言行録、伝道法、パウロ書簡など、わからない所も多くあつたが、手話ができる先生にわかりやすく教えて頂いて大変興味深かったです。

あつと言う間に三年間が終わり、無事卒業できました事は先生方、各教会の皆さんのお祈りのお蔭で心より感謝しています。これからも信仰生活に励み、ろう者のために福音宣教にもっと神様の力をいただきたいと願つ

ています。年も増えたのですが、健康も守られ主に支えられるようにお祈り下されば嬉しいです。

「ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立つて、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだではないことを知っているのですから。」

一コリント一五章五八節

「全国ろう者聖会に参加して」

中村 澄子

(小岩栄光キリスト教会)



徳島手話劇
ユダの裏切り



御影手話劇
ダビデとゴリアテ

世代に伝え、継ぐ必要があると反省させられました。台風の影響で聖会の時間を早めに切り上げたりで、物足りない気がしましたが、学んだ事を生かして、これからはみんなで祈りの人となり、「一つとなつて」更に前進してまいりたいと思ひます。あつという間でしたが、恵まれた聖会でした。

2020年行事予定

★トレーニングスクール・ろう者信徒聖書学校

日時：2月10日（月）～11日（火）

場所：ビッグ・アイ（大阪府 堺市）

★ろう者聖会

日時 8月11日（火）～13（木）

場所 香川県 ホテルアネシス瀬戸大橋

★世界ろう者大会

日時 9月30日（水）～10月7日（水）

場所 バルセロナ（スペイン）



ろう者実態調査アンケート結果

2019年2月教職研修会において、また、エパタ発送教会にアンケートを依頼しました。その結果を以下にまとめました。

2017年度教勢報告も参考の為に掲載しています。

●アンケート回答数72(全体教会数221)

ろう者伝道をしている教会30

していない教会42(ろう者伝道に関心のある教会21)

●ろう者伝道をしている30教会のうち

礼拝出席数5人以下の教会が17と過半数以上

礼拝出席者数231名のうち70代が114人で過半数以上

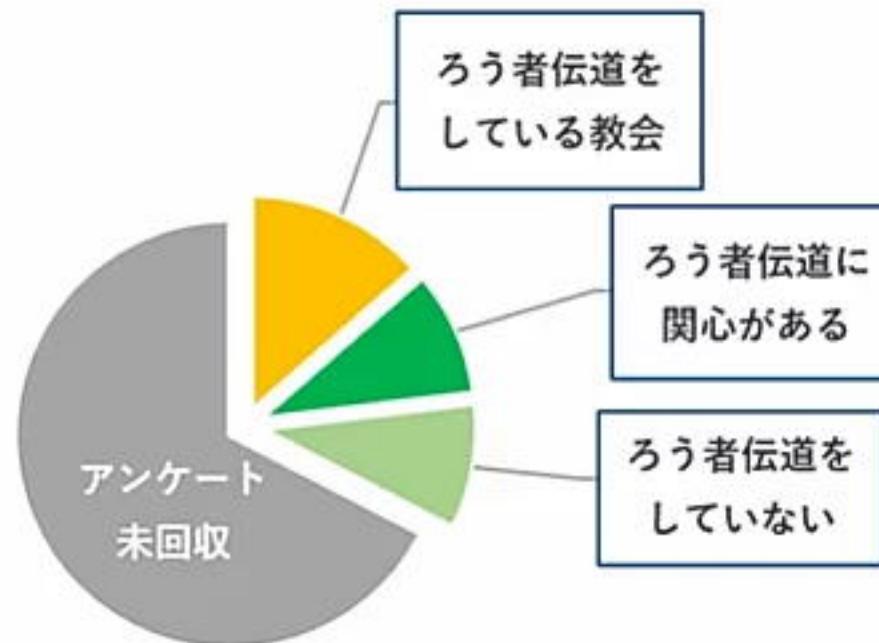
全国ろう者信徒数

(2017年度教勢報告参考)

教区	人数	教会
北海道	3名	1教会
東北	2名	1教会
関東北東	43名	2教会
関東南西	4名	2教会
東海	22名	3教会
北陸	0名	0教会
関西	84名	9教会
中国	32名	3教会
四国	69名	9教会
九州	5名	1教会
沖縄	1名	1教会
合計	265名	32教会

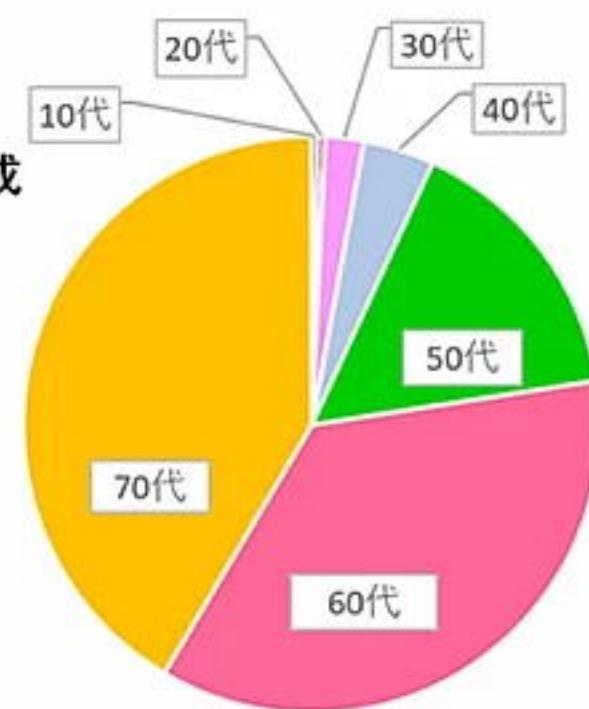
礼拝出席者数	内訳	教会数	教会数合計
5人以下	0人 1人 2人 3人	5教会 3教会 6教会 3教会	17教会
10人以下	6人 7人 8人 9人	2教会 1教会 1教会 2教会	6教会
20人以下	12人 20人	2教会 1教会	3教会
30人以下	21人 24人 30人	1教会 1教会 1教会	3教会
50人以下	43人	1教会	1教会

231 30 30



教会ろう者年齢構成

年齢構成	人数
10代	1人
20代	1人
30代	6人
40代	11人
50代	43人
60代	99人
70代	114人



礼拝形式

ろう者単独礼拝のみ	2
月1~2回合同	11
聴者との合同のみ	12

礼拝時手話通訳

手話通訳者がいる	15
礼拝によって牧師が通訳	2
牧師のみ	8

愛するろう者の方々と そのⅡ～私の愛する人々とともに～ 新居浜福音キリスト教会 楠章三

1972年1月2日～4日新居浜の「ホテル高柳」で、ろう者聖会が行われました。講師は当時教団総理であった、弓山喜代馬先生と西海栄悦先生でした。

聖会の時、新居浜のろう者の人たちは弓山先生の前に一列に並びました。N兄が言いました。徳島に牧師先生を送ったように新居浜にも牧師先生を送ってください。」

弓山先生は「こんなに立派な人たちがいるのですから、牧師先生を送ります。」と答えられたのです。

その年の5月、全国聖会の後、私が新居浜に遣わされました。教会は市内中心部の商店街の二軒続きの二階建。間口一間半、奥行三間の元店舗の壁を綺麗に塗装し、新しく迎える牧師のために、生活用品を全て揃えてくだ



さっていたのです。建物の一階は礼拝場と集会場、二階の三畳と六畳は牧師館です。

5月13日(火)夜、二階の六畳に集まり、元岡山神召基督教の内川寿造先生により、就任式及び開所式が行われました。

その日から兄弟姉妹とともに励んできました。共に喜び、共に祈り、共にめぐみを分かち合い、今まで來ることができました。愛する兄弟姉妹たちと、これからも共に歩ませていただきたいと願っています。

「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを私たちは知っています。」(ローマ8章28節)